

富三博士は「三里」というペンネームで俳句をつくりました。

次に、博士の句集「一年百句」から俳句を紹介しましょう。五七五のリズムの中にこめられた、博士のあたたかい心が伝わってきます。

冷たさにわさな幼き思い寒の水

早咲きの梅は隣のあたたかさ

風少しあれども開く春の窓

行く春の貨物列車の長さかな

